

【様式3】

③食育の日の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	静岡市
取組市町村名 取組団体・企業名	安倍口こども園
取組の名称	“いつものお茶”ってどんなお茶？
実施時期	令和6年11月19日(火)
取組内容に該当する 食育ピクトグラム	
取組内容	<p>【参加者】 4・5歳児…5名 保育教諭…4名</p> <p>『11月1日はお茶の日』ということにちなんで、普段飲んでいるお茶についての関心を深め、緑茶に親しんでほしいという願いをもって企画しました。</p> <p>①いつも家や園で飲んでいるお茶はどんなお茶？ →茶色！と答える子が多く、何茶を飲んでいるかを知っている子はいませんでした。近隣中学生が茶畑から茶摘みをして、製茶するまでの写真を見たり、本物の茶葉やお茶の実・花を触ったりする活動の中で、お茶になるまでの過程を知りました。</p> <p>②3種類のお茶を比べてみよう →ほうじ茶、紅茶、緑茶の茶葉をそれぞれ小皿に出し、色や形、匂いの違いを感じられるようにしました。次に透明なマグカップに茶葉とお湯を入れて色の違いをじっくり観察しました。ほうじ茶の色が普段飲んでいるお茶に近いことに気付く子がいたり、「いい匂い」とほほ笑む子もいました。また、すべてが同じ茶葉からできたお茶だと知らせるととても驚いていました。</p> <p>③緑茶を飲んでみよう →少し冷ました緑茶(玉露)を飲むと、「おいしい！」「おばあちゃんの(家の)味！」と喜び子がいる一方、普段の親しみのない子は「苦い…おいしくない」と率直に感想を口にしていました。</p> <p>静岡で盛んに生産されている緑茶。子ども達は実際に見て、嗅いで、飲んでという実践をすることで、普段飲んでいるお茶に対してじっくり関心をもつ良い機会になりました。また、緑茶の味に対する感じ方が子どもによって大きく異なったことに驚きました。活動の締めくくりには、小学校や調理室のある他のこども園では毎日のように緑茶を飲んでいることを知らせました。家庭でも保護者と一緒に緑茶に親しむ経験ができるよう、降園時にも話をし、食育活動が家庭での食育にも繋がっていけば良いと思いました。</p>